

院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

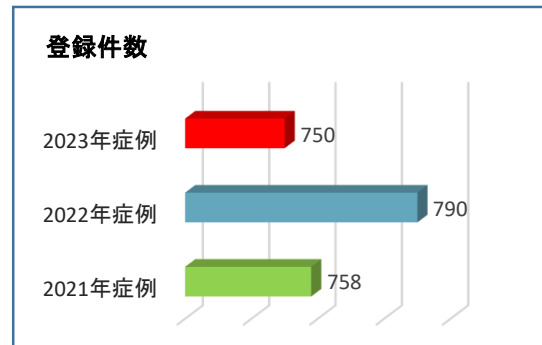
診療情報管理室 院内がん登録担当

2023年の院内がん登録件数は750件で前年より40件減少した。登録上位5部位は、「肺」123件、「乳房」108件、「大腸」85件、「皮膚」78件、「尿路系」63件であった。

男女別登録数は男性385件、女性365件で、男性の方が20件多かった。登録件数の最も多い「肺」では男性79件、女性44件と男性が女性の約2倍となっている。

平均年齢は全体71.6歳、男性73.2歳、女性70.0歳で年齢分布でも70歳台が最も多く、次いで80歳台が多くなっており例年同様高い傾向にある。

がん検診・健康診断などによりがんが発見された人は、全体の13.7%（前年15.6%）であった。全体では前年より減少したにもかかわらず、乳房24%（前年18.5%）、肺19%（前年17.8%）と増加している。

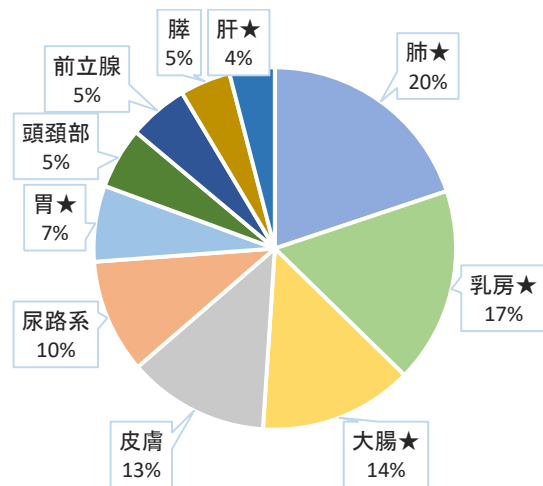


① 診断年別主要部位別件数

部位	2021年	2022年	2023年
肺★	137	118	123
乳房★	115	91	108
大腸★	95	97	85
皮膚	52	71	78
尿路系	50	54	63
その他	50	44	48
胃★	41	54	42
頭頸部	27	36	34
前立腺	45	60	33
膵	22	30	28
肝★	34	24	25
悪性血液	18	19	22
子宮	28	37	19
脳脊髄	16	23	17
食道	12	12	15
甲状腺	16	20	10

★は5大部位

登録上位10部位別割合



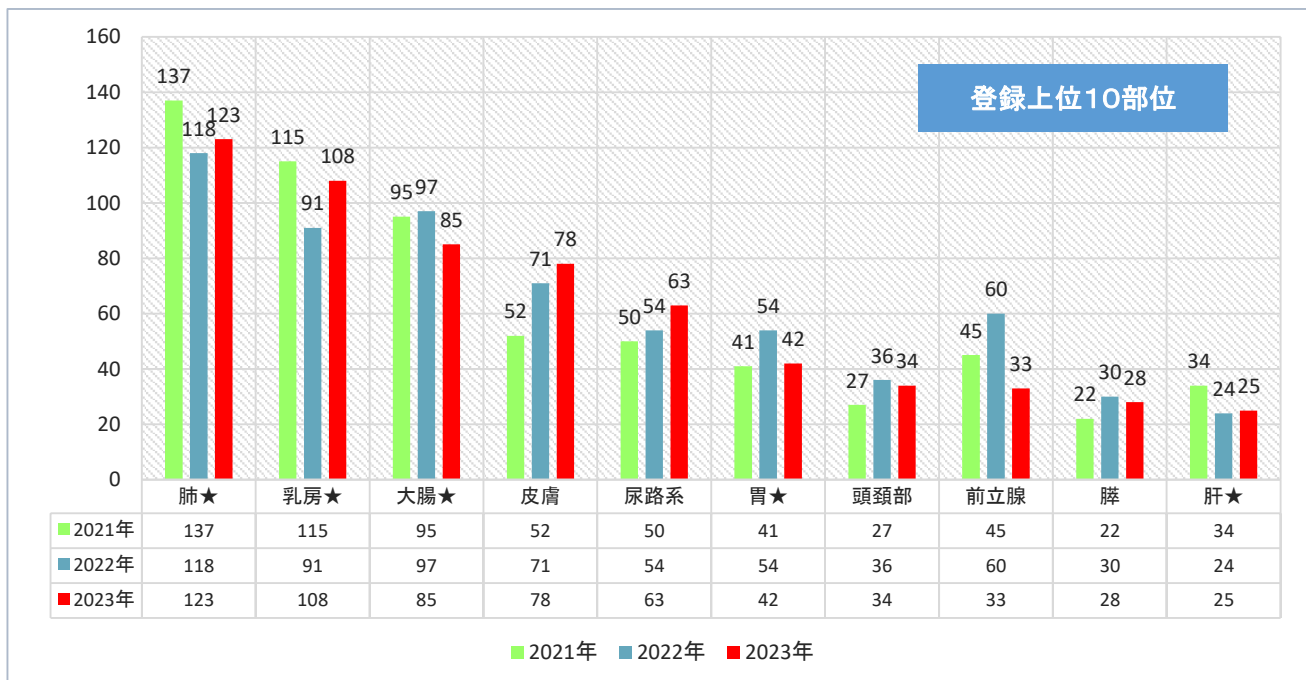
※大腸は結腸(57件)と直腸(28件)

※尿路系は膀胱(29件)、腎(18件)、腎盂(7件)、尿管(9件)、尿道

※子宮は子宮頸部(9件)と体部(10件)

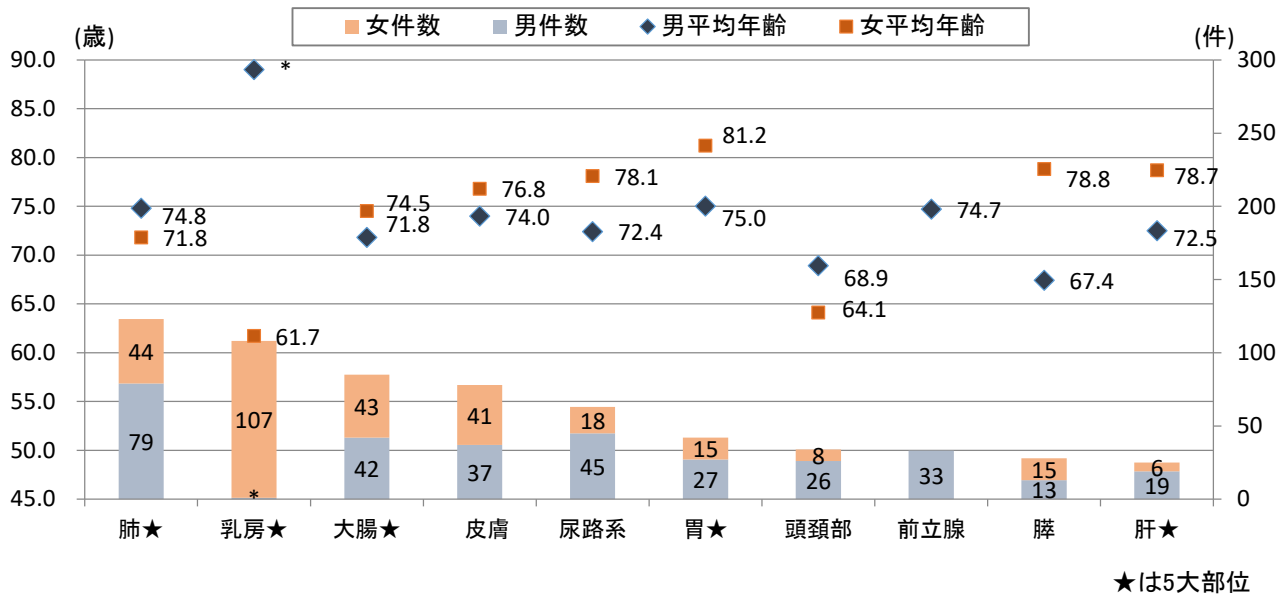
※脳脊髄は脳腫瘍(16件)と脊髄(*件) 注:脳脊髄は良性等も含む

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫(22件)、骨髄腫、他の造血器腫瘍



※個人が特定できる可能性がある数値(3件以下)は「*」で掲載しています。

② 性別上位10部位別件数と平均年齢

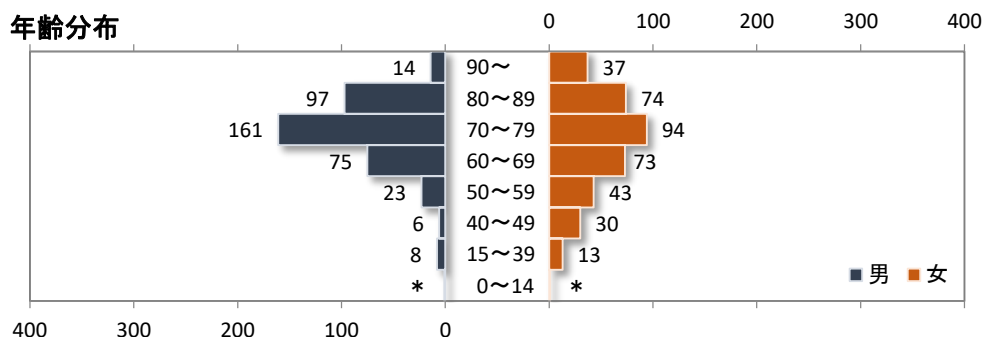


③ 性別年代別登録内訳と年齢分布

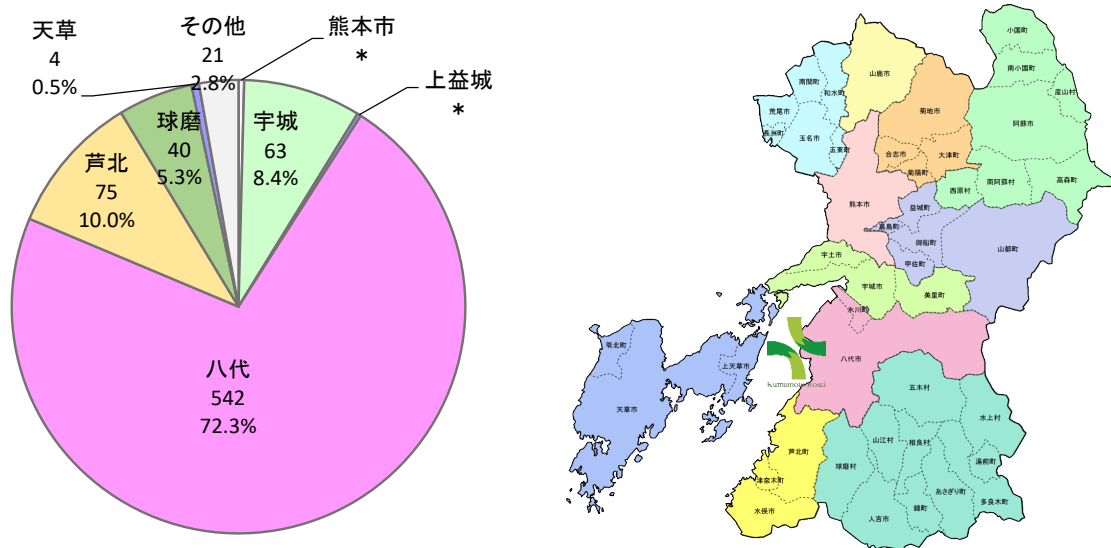
男性全体	0~14歳		15~39歳		40~49歳		50~59歳		
肺★	79	皮膚	*	大腸★	*	頭頸部	*	頭頸部	4
尿路系	45			悪性血液	*	食道	*	大腸★	4
大腸★	42			肝★	*	膵	*	肺★	*
皮膚	37			皮膚	*	肺★	*	胃★	*
前立腺	33			脳脊髄	*	皮膚	*	肝★	*
胃★	27							膵	*
その他	27							など	
頭頸部	26	計	*	計	8	計	6	計	23
肝★	19	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
膵	13	肺★	15	肺★	42	肺★	15	大腸★	*
食道	13	尿路系	14	尿路系	22	皮膚	14	肺★	*
悪性血液	12	皮膚	8	大腸★	18	胃★	11	皮膚	*
脳脊髄	8	前立腺	8	前立腺	14	前立腺	9	その他	*
甲状腺	*	頭頸部	7	その他	12	その他	9	前立腺	*
乳房★	*	大腸★	7	胃★	11	大腸★	8	尿路系	*
		など		など		など		など	
計	385	計	75	計	161	計	97	計	14

女性全体	0~14歳		15~39歳		40~49歳		50~59歳		
乳房★	107	脳脊髄	*	乳房★	9	乳房★	16	乳房★	22
肺★	44			頭頸部	*	子宮	5	大腸★	8
大腸★	43			大腸★	*	皮膚	4	肺★	*
皮膚	41			甲状腺	*	頭頸部	*	子宮	*
その他	21					大腸★	*	皮膚	*
子宮	19					脳脊髄	*	甲状腺	*
尿路系	18	計	*	計	13	計	30	計	43
胃★	15	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
膵	15	乳房★	26	乳房★	22	皮膚	12	皮膚	11
悪性血液	10	肺★	14	肺★	20	胃★	9	大腸★	9
脳脊髄	9	皮膚	9	大腸★	13	大腸★	9	その他	4
頭頸部	8	子宮	7	尿路系	8	乳房★	9	乳房★	*
甲状腺	7	その他	5	膵	6	その他	7	膵	*
肝★	6	大腸★	*	脳脊髄	6	肺★	6	尿路系	*
食道	*	膵	*	胃★	4	尿路系	6	頭頸部	*
		など		など		など		など	
計	365	計	73	計	94	計	74	計	37

年齢分布

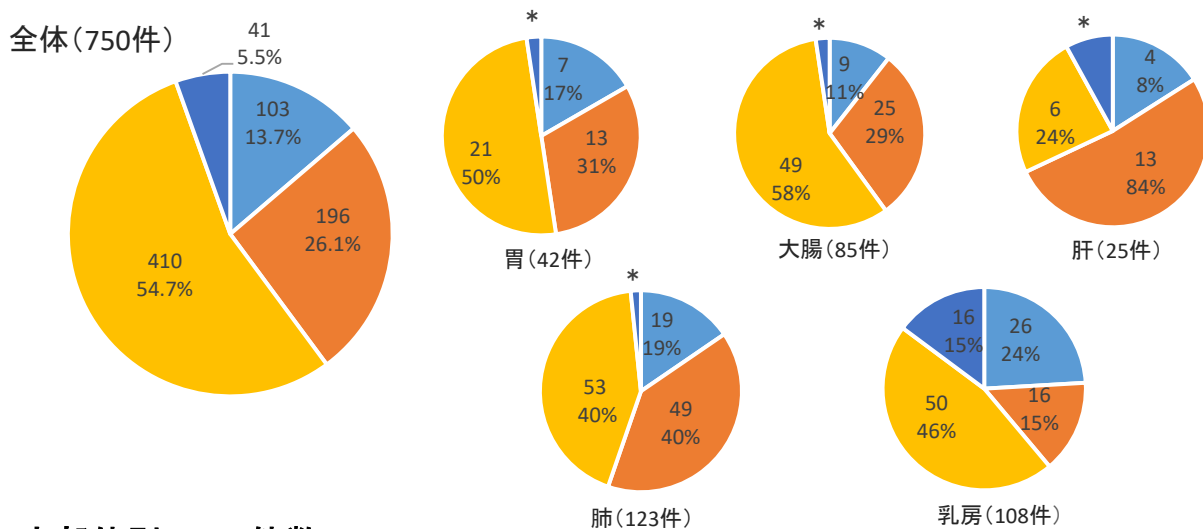


④ 患者住所医療圏別登録の状況

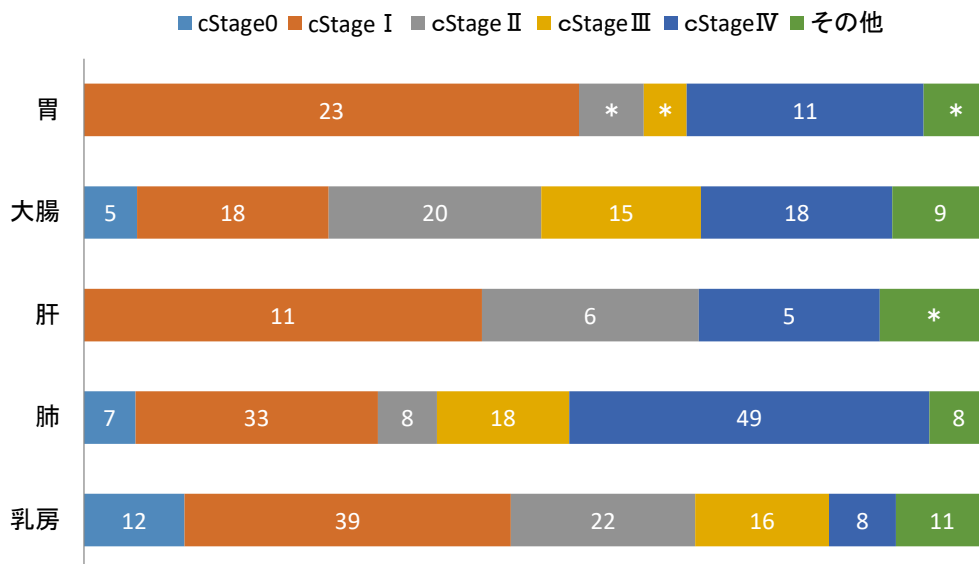


⑤ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自覚症状による受診含) ■ 9不明



⑥ 5大部位別Stage件数



※ステージは総合ステージ【UICC分類第8版】

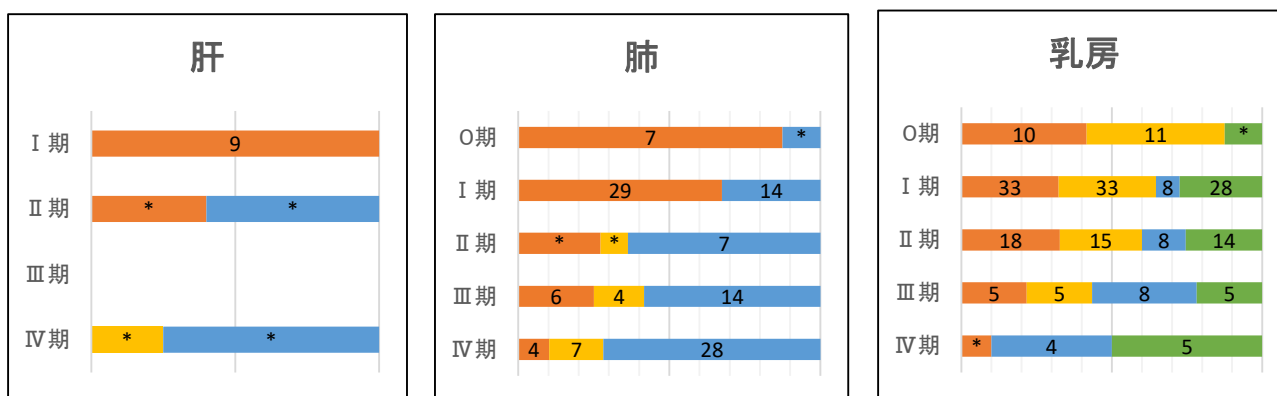
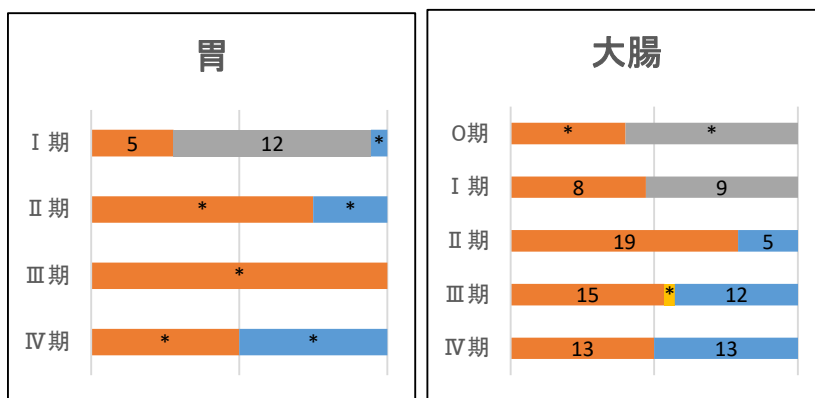
(術前治療なし・観血的治療例はpstage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はcStage)

※UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計

⑦ 5大部位(総合Stage別)の主な治療

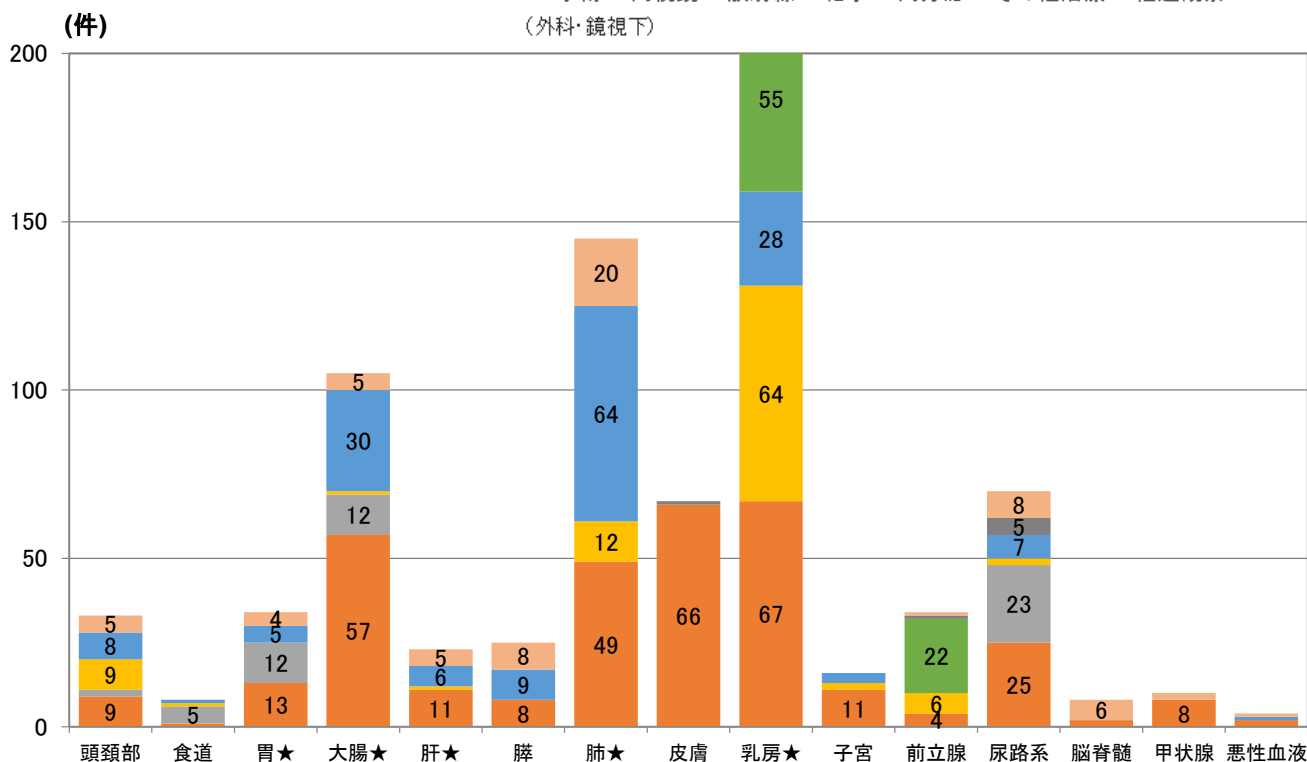
■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線 ■ 化学 ■ 内分泌 ■ その他の治療
 (外科・鏡視下)

全登録部位において、自施設初回治療、他施設初回治療開始後の継続治療を行った症例614件は、手術療法409件、放射線療法101件、化学療法169件、内分泌療法79件、その他の治療(RFA等)7件、経過観察のみ78件であり、例年と同じく手術療法が最も多くなっている。治療に関しては、高齢者・若年層に関わらず、症状が出現した状態で受診し、それらの多くが進行癌であることなどから外科的治療が出来ない場合が少なくない。特に登録件数の一番多い「肺」ではstageIVの割合が約40%を占め、このような症例が多くみられた。



⑧ 主要部位別治療の内訳

■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線 ■ 化学 ■ 内分泌 ■ その他の治療 ■ 経過観察
 (外科・鏡視下)



※初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※治療は単独、複数に関わらず各々積算

※個人が特定できる可能性がある数値(3件以下)は「*」で掲載しています。